

北秋田市 しょうがっこう 冬の笑楽校 一度は受けてみたい授業

| | |
|------|--|
| | 1月12日(土) |
| | 8:50 ~ 9:00 開校式 |
| 1時間目 | 9:00 ~ 10:00 図工 「スイーツマグネットを作ろう」 |
| 2時間目 | 10:10 ~ 11:00 体育 「速く走る方法を学ぼう」 |
| 3時間目 | 11:00 ~ 12:30 家庭 「調理実習」 |
| 昼休み | 12:30 ~ 13:30 給食 「3時間目に作ったものを食べよう」 |
| 4時間目 | 13:50 ~ 15:20 理科 「スペシャル理科実験」講師：秋田大学 |

★スクールバスをご利用できます★
 (行き) 大阿仁公民館7:20→阿仁公民館7:40
 →森吉公民館8:10→合川公民館8:25→中央公民館8:40 / (帰り) 中央公民館15:40発
 ■場所 中央公民館 ■対象 小学生～一般
 ■参加費 高校生以下500円、一般700円
 ■申込締切 1月8日(火)
 問い合わせ 生涯学習課 ☎62-1130

学びの広場

地域で学び、活動する
 皆さんを応援します
 北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

子ども・若者育成支援強調月間(11月)

～秋田看護福祉大「ピアカウンセリング」に学ぶ～

北秋田市青少年問題協議会(津谷永光会長)が主催する秋田看護福祉大の出前授業が11月20日、秋田北鷹高校で開かれ、近年増加している「デートDV-交際中の男女間に起きる暴力」をテーマに高校生と委員等が理解を深めました。

高校生は同大学生9人のカウンセラーによる寸劇やグループディスカッションなどから、相手を思いやる解決方法や暴力に発展させない会話、素直な気持ちを伝える言葉の大切さについて学びました。また、同大学の岩間薫教授が、青少年の抱

える問題についての実例やデータから「中高生の相談役は同年代の若者である」などと紹介しました。



▲秋田看護福祉大ピアカウンセラーによる出前授業

サークル活動の成果を披露

～もりよし文化交流会～

森吉地区で活動しているサークルや団体、個人の作品を披露するもりよし文化交流会(成田陸雄実行委員長)が11月18日、森吉コミュニティセンターで開かれ、大勢の市民らが歌や踊りなど多彩なステージを楽しみました。

演習部門は、森吉中学校吹奏楽の迫力ある演奏がオープニングを飾り、地元熊野神社の民俗芸能「餅つき踊り」の披露や、日本舞踊、居合道杖道、ダンスなど多彩なステージで会場は多に盛り上がりました。

また、作品展示には団体作品の他に個人の力作も展示され、訪れた方を楽しませていました。



▲森吉中学校吹奏楽部による演奏

高校生といっしょに手づくりキャンドルデー

～ちょっと公民館でボランティアプロジェクト～

チョコボラプロジェクト「高校生といっしょに手づくりキャンドルデー」が11月17日、中央公民館で開かれ、小学生22人が秋田北鷹高生や一般のボランティアにサポートしてもらいながら、エコキャンドル作りに挑戦しました。

昨年に引き続き行われたこの取り組みは、使い古しのロウソクを使用しカラフルなキャンドルに仕上げるもので、今年は小学生の体験講座として開催されました。

でき上がったキャンドルはラッピングし、子

もたちの一足早いクリスマスプレゼントになりました。



▲でき上がったキャンドルをラッピング

中央公民館公開講座

開催 中央公民館 ☎62-1130

■料理講座「餅と山の芋を美味しくアレンジ」

日時 1月18日(金) 9時30分～正午

会場 中央公民館

講師 佐藤絹子氏 定員 20人

参加料 材料代1000円程度

持ち物 エプロン、三角巾、筆記用具

申込期間 1月4日(金)～11日(金)

■グッドライフ講座&一般公開講座

「今、いのちをみつめて」

日時 1月30日(水) 14時～16時

会場 中央公民館 参加料 無料

講師 奈良正人氏(奈良医院院長)

テーマ 「人生と医療を語る」

申込期限 1月25日(金)まで

平成25年度放課後児童クラブの募集

開催 生涯学習課 ☎62-1130

放課後児童クラブは、保護者が仕事などで日中留守になる家庭に代わって、子どもたちに安全な生活の場と遊びの場を提供しています。

◆対象児童 保護者が就労等により日中家庭にいない概ね10歳未満の児童(ただし6年生まで入会可能)

◆申込み 2月28日(木)までに入会希望の児童クラブへお申込みください。

現在利用されている方も、改めて申し込みが必要です。

◆提出書類 ①児童クラブ入会申込書②児童票

※関係書類は、各児童クラブ、各公民館に設置しています

ふるさとの文化財

58

北秋田市指定記念物(遺跡)

○「般若院英泉孔雀明王経出版記念碑」

出版記念碑

◇所在地 綴子字西館46 綴子神社

◇管理者 宮司 武内尊英

寛政8年(1796年)、綴子村修験者般若院英泉と龍峰師弟によって『仏母大孔雀明王経校訂本』が刊行され、それを記念して建立されたのが「般若院英泉孔雀明王経出版記念碑」です。

孔雀明王経というのは、修験道において最も大切にされる根本経典の一つで、とても難しく一般には読めませんが、英泉は梵字梵語の研究を重ね、当時世に出ている経典を読みやすいように書き表しました。宝暦元年(1751年)英泉38歳の時に完成しましたが、生存中は出版されませんでした。

しかし、15代神宮寺龍峰が浄財寄進者を募り寛政5年(1793年)に実現しました。上中下巻それぞれ300部で、計3千部総額61両(今の1千万円)を要したそうです。

◇「修験道」

山野を巡り歩いて霊験(不思議な力)を得るための法を修行する



▲般若院英泉孔雀明王経出版記念碑

▽昭和53年2月1日指定文化財
 △資料「鷹巣の文化財」、「鷹巣町史」、「北鹿は宝箱」
 ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二

こと。日本仏教の一派で、日本古来の山岳信仰に基づくという。(山伏)
 ◇「梵字(ぼんじ)」
 サンスクリット語を記すのに使った文字で、古くインドなどで発達したと言われています。
 ◇般若院英泉(1714～1782年)綴子村修験者神宮寺14代烈光の弟と言われ、9歳で内館塾に入り修験道に属しながら真言宗や禅宗など仏教の教えを学んだほか、医学や他の実学にも優れた宗家です。多くの著作など多彩な学問的功績を残していますが、その最大のものが『孔雀明王経校訂本』の作成です。